

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南木曾地域遊休農地「畑わさびハウス栽培普及事業」		
事業主体 (連絡先)	南木曾しあわせ農業の会 代表者 松原 徳則 事務局 早川 親利 (090-3467-2516)		
事業区分	産業振興に関する事業		
事業タイプ	ハード		
総事業費	1,126,777 円 (うち支援金 :		751,000 円)

#### 事業内容

南木曾町の農業は後継者不足や鳥獣による被害などで農業収入が減少し、農家離れが多くなっています。こうした状況に歯止めをかけ優良農地を維持する必要があることから、南木曾地域に適した作物を見出すために「畑わさび」のハウス栽培の普及を行います。

#### ●「畑わさび」栽培講習会の開催

講習会第1回 令和3年10月6日 計22名

- 1、土づくり (土壌試験方法・基礎肥料等)
- 2、植え付け (苗の管理・植え付け方法等)

講習会第2回 令和4年2月28日 計12名

- 3、季節毎の管理 (水やり・温度調節・日照調節・除草)
- 4、病害虫の管理 (消毒・除草剤等)



【講習会の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①遊休農地の活用及び減少
- ②南木曾の特産作物の開発
- ③「畑わさび」栽培の講習会
- ④「畑わさび」栽培農家の発掘

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①この事業により遊休農地3Rが農地として利用した。
- ②「畑わさび」の成長過程において花が咲くがこの花は出荷しない為、花を利用したわさびの花の漬物を柿其味噌組合に試作を依頼している。
- ③講習会を2回開催し34名が参加した。(土づくり、植え付け、季節毎の管理、病害虫の管理等)
- ④現在1名が4年度に向けて栽培の準備をしている。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、わさびの収穫、出荷等を行い、その都度講習会を開催する。「畑わさび」栽培を継続して、1人でも多くの後継者を育成したい。

又、わさびの花を活用し、わさびの花漬けやわさびの花を活用した町独自の特産品の開発を行う。

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

「畑わさび」栽培の講習会を5回開催の予定でしたが、2回分を1回にして2回しか開催できなかった。

町内で5人程から問い合わせあり、1人が就農し「畑わさび」栽培も考えている。

※コロナの影響で講習会が予定通りできなかったのは残念でしたが、何時でも見学できるようにしました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある